



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



令和4年度学力・学習状況調査を実施。NSRPO 認定証。

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

本日、6年生に令和4年度学力・学習状況調査を実施しました。今年は国語、算数に加え理科も実施されました。この学力・学習状況調査は全国の6年生と中学3年生が全員受けるものです。その名の通り、日本の子供達の学力・学習の状況を調査するためのものです。日本の子供達の学力がいかなるものか、必要とされている学力をきちんと身に付けているのか、学習に対する子供達の学びの状況、生活の様子はどのようなものなのか等を調査するものです。大変な国家予算を投入し調査しているものです。その願いは、日本の子供達の学力の向上にあります。学力・学習の状況を調査し、その課題を見つけ、その改善に生かし、活用するということが大きなねらいです。子供達は日本国の宝です。これからの時代を地球的な規模の中で生き抜く、次代を担う日本の子供達の育成が国家の課題であることは今も昔も変わることはありません。子供達が将来の日本を背負い、その未来を切り開いていくことは紛れもない真実なのです。この中番小学校の子供達もその日本の子供達であり、これからの日本を支える、いや、支えてもらわないといけない子供達なのです。**日本を支え、そして、動かす気概をもって、自らの将来、未来を考え、学習に臨んで欲しいと思っています。少し、大きな話をしましたが、是非、子供達にはそれぐらいの熱い思いをもって学習に臨んで欲しいと思っています。**

新学期が始まった先々週の金曜日より、「安全な登下校プロジェクト」を実施しました。何故かという、令和4年度は登校に関して大きな変化がありました。それは、各町の登校時刻を遅くすることでした。令和3年度の終わりの頃、各町が7時45分迄には学校に来ているという状況が

ありました。町で集合がきちんとでき、揃って出発できるという非常に素晴らしい状態であったと思われます。これも偏に保護者の皆様のご指導のお陰だと感謝しておりました。そのような中、学校職員の働き方改革の一環、朝の戸明け業務の改善の観点から、もう少し登校時刻を遅くできないものかと思案しておりました。登校時刻の変更については、各家庭のご都合、町での登校立ち番でお世話になっている方々のご都合等、様々なところへ影響を及ぼすことが考えられました。様々なお立場の方のご意見を伺いながら、皆様のご理解を得ることができ、登校時刻を遅くし、令和4年度をスタートさせることができました。本当にありがたいことだと思っています。そこで、登校について、子供達にも安全な登下校の意識をより持ってもらう為に「安全な登下校プロジェクト」を実施しました。登校後、町毎に振り返りを実施し、登校班長の責任で評価し、その結果を一覧表に記載してもらいました。どうしても忘れてしまう時があります。**登校班長の素晴らしいところは、声を掛けると、すぐに動く、動けるということです。**この動きができるかどうか、これは大変重要な事です。これができた6年生は本当に素晴らしいと感じました。結果は、残念ながらすべての登校班が達成とはなりません。しかし、達成とはならなかった全ての登校班が目標点まで後1桁得点足らずということでした。これは大変素晴らしいことで、一日平均1点アップすればよかったということなのです。次回は、是非、全校生が **NSRPO 認定証**を手にして欲しいと願っています。

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断を許さず、心配な状況です。今後も気を緩めず、感染対策を継続し、徹底して、児童がきちんと行っているよう指導を続けたいと考えています。保護者の皆様にも引き続き、児童の朝の検温、体調管理等、感染症対策について、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携し、「**明日も行きたい！学ばたい！学校**」を目指し、**教育活動を進め、共に歩んでいきます。**